

ホームレスの方への理解を深めましょう

～どうしてホームレスに陥ってしまうのか～

愛知県内のホームレス数は、平成27年1月の調査で367人が確認されました。これは初めて全国調査が行われた平成15年1月の調査では2,121人となっており、1,754人の減少となっています。

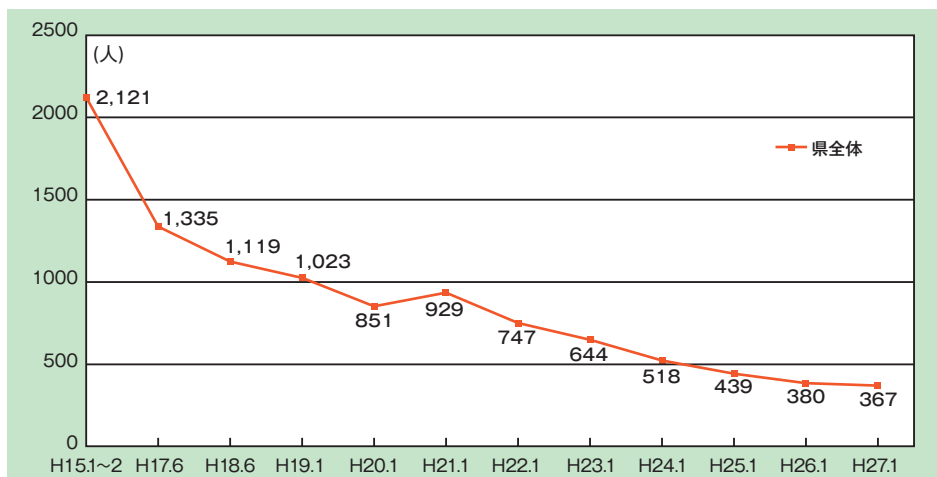
現在確認されているホームレスの方の多くは名古屋市など大都市圏に偏っている一方、いくつかの市町村でも、少数ですがホームレスの方が確認されています。

どうしてホームレスに陥ってしまうのでしょうか?その生き立ちには、幼いときに家族を失った方や病気やけが等により仕事を失った方など、誰にも相談できないまま社会から孤立してしまい、その結果住む場所さえも失ってしまう経験をされています。一度住む場所を失ってしまうと、再び元の生活を取り戻すには多くの問題を解決しなくてはなりません。

多くの方はホームレスの自立支援施策や生活保護などを活用し、住まいを確保し、ホームレス状態からは抜け出すことができました。しかし、それだけでは、社会から孤立している状況に変わりありません。地域や社会の中で生活をするためには、社会や人とのつながりを作っていくことが必要となります。

ホームレスへの理解を深めて、ホームレスを生まない社会にしていくためには、私たち一人一人が考えていくことが大切ではないでしょうか。地域で生活する私たちもお互いに支え合い、助け合える関係にあることがとても大切です。

■愛知県内の
ホームレス数の推移



あいち人権啓発プラザ企画展 「ハンセン病を正しく理解するために」

企画展

- 期間** 平成27年8月17日(月)から8月28日(金)まで
平日の午前9時から午後5時15分まで(最終日は午後4時まで)
- 会場** あいち人権啓発プラザ(愛知県東大手庁舎3階)
- 内容** 啓発パネル及びハンセン病に関する書籍等の展示
療養所入所者作品展示(陶器、絵画など)

講演

ビデオ上映会

- 期間** 平成27年8月26日(水) 午後2時から午後4時まで(予定)
- 会場** 愛知県東大手庁舎 地下大会議室
- 内容** 講演「ハンセン病強制隔離に抗した小笠原登医師について」
講師 小笠原英司 住職
ビデオ上映「ハンセン病 今を生きる」

参加方法 入場無料、先着順(定員80名)、事前申込不要

